こうすればうまくいく！

マンションリフォームの上手なすすめ方

「そろそろリフォームしたいな」と思っても、
何から始めればいいかわからない、という方も多いのでは。
「にゃんこ部長」が満足できるリフォームのすすめ方をお教えします。

STEP 1 不満点・希望の洗い出し

まずは、住まいの使いづらい点、不満に感じる点を家族で洗い出します。改善したいポイントや、これからどう暮らしたいかなど希望をまとめましょう。

STEP 2 リフォームのイメージを固める

インテリア雑誌のリフォーム事例、設備や建材のパンフレットを参考に、リフォームプランを立てましょう。ご近所の経験者の話も参考になります。

STEP 3 管理会社に相談

マンションによってもリフォームのルールが異なるので、まず管理会社に相談をしましょう。現状の図面や管理規約などを踏まえて見積もりを依頼します。

Q マンションはどこまでリフォームできるの？

A 分譲マンションには、所有者が自由にリフォームできる専有部分とそうでない共用部分があります。また、マンションごとに、使用できる床材など独自のルールを定めている場合も。まず、ご自分のマンションを熟知した管理会社に相談しましょう。

共用部分
廊下 構造物 共有管
専有部分
床・壁・天井の内部仕上げ
玄関扉 窓 ベランダ
共用部分・一部専有使用権あり

Q キッチンなど水回りは位置を変更できる？

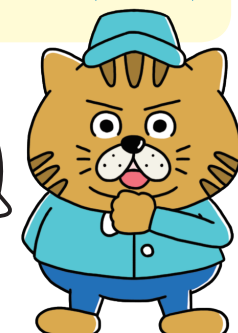
A キッチンや浴室、トイレを移動するには、配水管や構造との位置関係を確認しなければなりません。排水のために、水勾配が設けられるだけの床下スペースも確保しなければなりません。プランニングの前に、マンションの管理会社に問い合わせてアドバイスを受けましょう。

リフォームで住まいをもっと快適に！

お気に入りのわが家も、長く住んでいれば、だんだん暮らしに合わないところが出てくるもの。気になる部分をチェックしてはいかがでしょう。住まいの設備機器は日々進化しています。上手にリフォームすれば、キレイになるだけでなく、家事効率や省エネルギー性も高まります。

ただ、大勢の人が集まって暮らすマンションでは、リフォームも一定のルールを守って行わなくてはなりません。また、昨今はさまざまな業者がリフォーム業に参入しているため、その品質にバラツキがあります。信頼できる会社に相談することも大切です。

ここでは、リフォームに取り組む前に知っておきたいことを、順を追って説明します。

リフォームで
不満な点を
改善する
ニャ！

にゃんこ部長
マンションリフォームのプロフェッショナル。困った人は放っておけない人情派。若いころはヤンチャだったという噂も…。

ショールームを活用しよう

キッチン・浴室などは、ショールームで実際に見て確認すると安心です。次のページで「ショールーム活用法」を紹介しています。

STEP 4 プラン・見積もりの比較・検討

見積もりとプランを比較して、希望がちゃんと反映されているかをチェックします。不明な点や分からないことがあれば、なんでも相談してみましょう。

Q 工事を依頼する業者はどう選べばいいの？

A 工務店や設備会社など、さまざまな業種の会社がリフォームを手掛けています。マンションリフォームを得意とする業者を選びましょう。管理会社なら、建物の構造や管理規約、マンション全体の修繕履歴や修繕計画を熟知しているので、安心です。

STEP 5 工事の発注

工事の内容や期間、費用などについて十分に検討。納得いくまで見積もりとプランを修整し、最終的な見積もりができたら、正式に工事契約を結びます。

Q 見積もりを頼むときの上手な要望の伝え方は？

A 見積もりを依頼するときは、どんなところが不満なのか、どのように改善したいのかしっかり伝えることが大切。現在のライフスタイルや家族構成、予算など率直に話しましょう。インテリア雑誌などの写真を使って、イメージを伝えるのもいいでしょう。

STEP 6 工事内容の確認

引き渡しを受ける前に、工事の仕上がり具合をしっかりとチェックします。プラン通りになっていないところは、すぐに伝えて直してもらいましょう。

STEP 7 工事の終了

すべての工事が終了したら竣工検査に立ち会い、プラン通りに仕上がっているかを確認。新しい設備の使い方などの説明を受けましょう。保証書や取扱説明書を受けとり、費用の清算をします。

水まわりについてありがちな不満をピックアップしています。
思いあたる項目を☑してみましょう。

キッチン
- □キッチンが狭くて動きづらい
- □調理台の高さが身長に合わない
- □調理をしながら家族と会話がしたい
- □調理器具や小物の出し入れがしづらい
- □コンロや換気扇の掃除が大変
- □換気扇の調子が悪い

浴室
- □浴槽へのまたぎが高い
- □換気が悪く、カビが気になる
- □冬場、浴室の中が寒い

洗面所
- □洗面台回りの小物が片付かない
- □洗面台の掃除がしづらい

トイレ
- □便器フチの掃除が大変
- □臭いが気になる
- □節水が気になる

リフォーム成功の近道

ショールーム活用術

プランが決まったら商品を実物でチェック！

図面やカタログを見るだけでは、実際の機器や建材の色や質感、大きさの感覚をつかむのは難しいものです。おおまかなリフォームプランが決まったら、近くのショールームに行って、実物を見て、触って確かめましょう。

とはいえ、準備なしにぶらりとショールームを訪れても、アドバイザーに空きがないと待たされてしまうことも。事前に予約をしてスムーズに見学しましょう。

まずは、ショールームを誌上見学してみましょう！

コミュニティワンではリフォームに関するご相談を承っています
見学希望日時を予約し、何を見学したいかなどもアドバイザーへお伝えします。ご希望があれば当日ショールームへ同行いたします。

私が行ってきました
リビング事業部　添田

今回は浴室・キッチン・洗面台・建材・収納を見学しました。現物を確認できるショールームを利用してください。

1 まずは受付カウンターへ

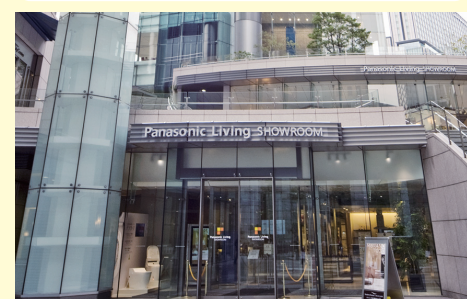
＼いらっしゃいませ／

事前に予約をしている場合は、直接受付カウンターへ。名前を伝えれば、担当アドバイザーが迎えてくれます。

／こんにちは＼

今回担当の三次さん

今回伺ったのは

パナソニック リビング ショウルーム東京

東京都港区東新橋1丁目5番1号
パナソニック東京汐留ビル

2 管理会社と相談したプランを伝える

おおまかなリフォームプランを制作してからショールームへ行くとスムーズです。検討中のプランを担当アドバイザーと一緒に実際に確認して、追加・変更などをしましょう。

IHでの調理が体験できるセミナーも！

IHクッキングヒーターの使い勝手が試せる実演イベントも。操作方法や使える鍋が分かるので、購入の検討にも、購入後の使用にも役立ちます。

3 浴室　スペースや快適さを体験

床・壁・浴槽のミニサンプルがずらり。実際に組み合わせながら、色や柄のコーディネートを検討できます。

酸素を含むミクロの泡のお風呂「酸素美泡湯」の展示。最新機能を体験できるのもショールームの魅力です。

最近は、リフォーム専用のユニットバスも多数。実際に浴槽へ入ってみて、出入りのしやすさや入ったときに手足が伸ばせるかなどを確かめてみましょう。

4 建材　色や質感は見て触って納得して

ドアの原寸大サンプルがずらりと並ぶコーナー。床とドアの組み合わせが確認できるコーナーもあります。

床材やドアの色や質感は、インテリアのイメージを左右します。同じ色でも面積が違うと印象が変わるので、イメージに近いものを選びましょう。取っ手などの金具もチェックして。

5 キッチン　カラーリングや使い勝手をしっかりお試し

水栓金具のコーナーでは、シャワーを引き出してみるなど、使い勝手もしっかり確認。実際に水も出ます！

キッチンの扉とカウンターのサンプルを組み合わせて、コーディネートを確かめられるコーナー。床材のサンプルと合わせて、キッチン空間全体がイメージできます。色や質感もさまざまです。

引き出しなど実際に開閉してみましょう。調理台の高さが自分に合っているかもチェック！

イメージに合うコーディネートをご提案します

6 洗面台　使いやすさや機能を確認

洗面台は、見た目だけでなく、ボウルの大きさや質感、収納の容量もチェック。顔を洗うときの高さはどのぐらいが適切か、展示品の寸法を参考に確かめます。

高さや使い心地がきちんとわかるニャ！

7 収納　インテリア性も細かくチェック

これならたっぷりしまえそう！

ショールームでは空間をトータルコーディネートしているので、扉材の色味や質感、床材などとの相性を確認できます。収納パーツは扉の開け閉めのしやすさや容量をチェックしましょう。

8 実際にチェックした内容を管理会社とのプランに反映

ショールームで実物を確認した結果は、その場でプランニングシートなどにまとめてもらい、持ち帰りましょう。実際に確認した内容をリフォームプランに反映してもらいましょう。

これでリフォームのイメージが鮮明になるニャ！

コミュニティワンでは
リフォームに関するご相談を
承っています

お近くの担当支店がお応えします！

コミュニティワン本社
リビング事業部

お問い合わせ先
0120-396-403
受付時間：午前9時〜午後6時　定休日：水・日・祝日

HPから手軽にお問い合わせできます

www.community-one.jp/reform/

ショールームに行く前にここをチェック

ショールームに出掛ける前にプランを見直して、見学の目的を整理しておきましょう。事前にカタログやホームページで情報収集しておくと、実物で何を確認したらいいのかが明らかになります。また、リフォーム後に使う家具や家電が決まっているなら、写真に撮ったり、寸法をメモしておくとプランニングに役立ちます。

持ち物リスト

- 検討中のプランや図面
- メジャー、筆記用具
- イメージに合うカタログや雑誌の切り抜き
- 家具や家電などの写真や寸法のメモ